

平成 29 年 10 月 13 日

関係各位

名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻  
鳥類バイオサイエンス研究室准教授選考委員会  
委員長 松田洋一

名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室  
准教授の公募について

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の通り、名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室の准教授を公募いたします。つきましては、貴機関の関係各位に周知方ご高配いただきたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存知の場合は、その方にお伝えいただければ幸いです。

記

## 1. 選考方針

平成 30 年 4 月からの生命農学研究科の組織改編に伴い、動物科学専攻に鳥類バイオサイエンス研究室が新たに開設されることになりました。当該研究室が担当する生命農学研究科附属鳥類バイオサイエンス研究センターは、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)「ニワトリ・ウズラ」の中核的拠点として、ニワトリ・ウズラリソースの収集・保存・提供とその高度化によって、我が国の生命科学研究の発展に貢献しています。当該研究室は、これらのリソース事業を推進するとともに、鳥類の生命科学における先端的な教育と研究を推進し、さらにアジア諸国を中心とした国際連携にも貢献することが求められています。

今回公募する鳥類バイオサイエンス研究室准教授の選考にあたっては、おもに鳥類を対象とした遺伝学、発生学、生理学、生殖科学、分子生物学、ゲノム機能科学などの研究分野において優れた研究業績をもち、世界をリードする先端的な研究を推し進めることによって、応用動物科学、農学、さらには生命科学の発展に貢献できる人を求めます。また、大学院および学部における教育に熱意をもって携わり、かつ大学組織の管理運営に責任感と協調性をもってあたる人が望まれます。さらには、リソース事業の中心的な役割を担い、鳥類バイオサイエンス研究センターの教員、研究員、技術補助員らと協力してセンターの運営にも取り組んでいただきます。

なお、当該研究室は平成 30 年 4 月 1 日に開設されます。この研究室の教授には、鳥類バイオサイエンス研究センター教授の松田洋一が着任することになっています。

## 2. 選考方法

選考委員会で審議選考し、研究科教授会の議を経て候補者が決定されます。選考の過程については必要に応じて研究科内の教員には公開されますが、個人情報保護法は遵守されます。

## 3. 応募に必要な書類（全て A4 版用紙を使用）

- (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、e-mail アドレス等を含む）
- (2) 履歴書（様式任意）
- (3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許等）
- (4) 論文、著書等の別刷り（主要なもの 5 編程度、コピーでも可）
- (5) 現在までの研究の概要（2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）
- (6) 今後の研究に関する計画と抱負（2,000 字程度）
- (7) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負、ならびに NBRP リソース事業への貢献に関する抱負（1,500 字程度）
- (8) 過去10年間の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて獲得年度、研究期間、名称と直接経費の総額を明記のこと）
- (9) その他（教育・研究活動、学協会関連活動、社会的貢献等）
- (10) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、e-mail アドレス
- (11) 上記の各書類 1 部に加え、(1)～(10)（「(4) 論文、著書等の別刷り」を除く）の提出書類をひとつの PDF 形式のファイルにまとめ、CD に保存して提出してください。

## 4. 応募方法

### (1) 応募期限

平成 29 年 11 月 24 日（金）必着

### (2) 応募先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科

附属鳥類バイオサイエンス研究センター内

動物科学専攻鳥類バイオサイエンス研究室准教授選考委員会

委員長 松田洋一

(e-mail : yoimatsu@agr.nagoya-u.ac.jp)

応募書類は、簡易書留郵便または宅配便にて送付してください。応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。選考終了後に責任をもって破棄します。

## 5. その他

- (1) 待遇：常勤（任期なし）
- (2) 着任時期：平成 30 年 4 月 1 日を予定。
- (3) 選考の過程で面接、セミナー等をお願いすることがあります。
- (4) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。

- (5) 公募に関するお問い合わせは、本選考委員会委員長（松田洋一）宛に電子メールにてお願いいたします。
- (6) 本公募については、名古屋大学および大学院生命農学研究科の教員公募ウェブページ、また科学技術振興機構研究者人材データベース（JREC-IN）のウェブページにも掲載していますので、ご参照ください。
- (7) 着任後は、大学院および学部における講義、実習、輪講などの授業、ならびに鳥類バイオサイエンス研究センターと、当センターが実施しているNBRPリソース事業の運営を担当いただきます。NBRPリソース事業については、NBRP「ニワトリ・ウズラ」のホームページ(<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~nbrp/index.html>)をご覧ください。
- (8) 第4期NBRPリソース事業（平成29年～33年）の展開によっては、鳥類バイオサイエンス研究センターの業務内容が変更される可能性があります。